

高等学校

教科【保健体育】

単元【体育：球技（ゴール型：バスケットボール）】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

自己や仲間の課題を発見し、運動のポイントや改善方法について、互いに助け合い高め合うことにより、技能の向上に資するとともに、協力、参画、共生など態度を育成する。

ICT活用のポイント

- ・見本となる動きや自身の動きを映像で客観視することにより、技能の向上に資することができる。
- ・教員の説明時に、動画やスライドを用いることで効率化を図り学習時間を確保するとともに、生徒の理解を促進することができる。

使用するICT機器	PC、タブレット等	使用するアプリ・クラウドサービス等	G suite（クラウド型グループウェア）映像遅延再生アプリ
クラウドの活用	☐ 教材の配布・回収等 ☒ 生徒の学習状況の把握	☒ 資料等の共有 ☐ その他（ ）	
本時のねらい	運動観察などを通して、仲間の課題を指摘するなど互いに助け合い高め合いながら学習に取り組むことができる。		
	主な学習活動（学習場面）	ICTの活用・留意点等	評価
導入	○前時の確認及び本時のねらいの確認 一斉	 プロジェクターを活用し、前時の学習内容や、本時のねらいを確認する。（体育館ステージ上のスクリーンで一斉に確認。） 指針2 指針6 ICT機器 	
展開	○シュート時のボール・コントロールについて説明を聞く 一斉 協働 個別 必要に応じて映像を繰り返し視聴	 教師による模範演技や見本となる動画を活用し、各種シュート時におけるボール・コントロール等について説明する。 指針3 ICT機器   個々の技能に応じて、各種シュートごとの練習場所に移動し、習得を目指す動きについて、タブレットを活用しながらグループで練習を開始する。 クラウド  ・クラウド上に、各種シュート動作の映像を事前にアップロードする。（部活動所属の生徒等に見本を依頼）  【01】シュート（ゴール下） MP4 ファイル 【02】シュート（フリースローライン） MP4 ファイル 【03】シュート（ジャンプシュート） MP4 ファイル 【04】シュート（レイアップシュート） MP4 ファイル 【05】シュート（レイアップシュート：フェイント付き） MP4 ファイル 【06】シュート（バックシュート） MP4 ファイル 【07】シュート（バックシュート：フェイント付き） MP4 ファイル ・運動のポイントについてタブレットの見本映像を見ながら、グループ内で共有する。 ・互いのシュート動作の映像を撮影し、習得を目指す動きとの違いについて指摘し合ったり、改善方法を伝え合ったりするなどして、互いに助け合い高め合いながら取り組む。 指針2 指針4	ここで評価 【態】 運動観察などを通して、仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合いながら学習に取り組もうとしている。
終末	○本時の振り返り 個別	 フォームで作成した振り返りアンケートに回答（自動集計結果を教師が確認） クラウド 	

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。
 ※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。
 ※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度